

# GビズIDのご紹介

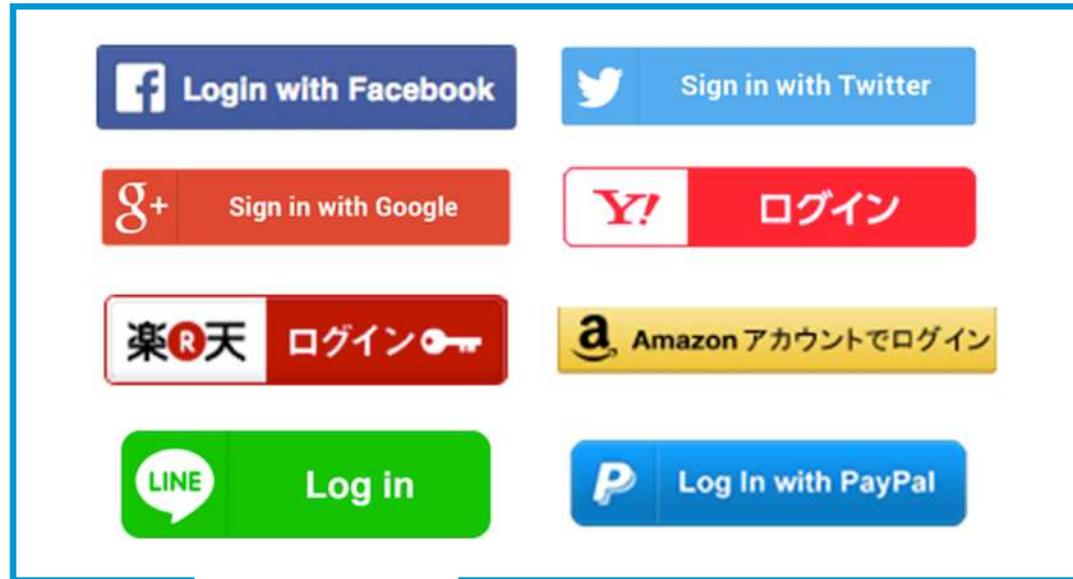
経済産業省



2020年1月から  
本格的に運用開始

## (事業者向け) 行政手続システムに 1つのID・パスワードでログインできるようにするシステム





こういうやつの政府版

- IDの取得は**無料**
- **セキュリティもしっかり**

## 1. 1つのIDで複数の行政手続に認証できる。

これまでは電子証明書や、登記事項証明の写し等バラバラな本人確認手法だったのを共通のログインシステムで標準化。

※今後利用される手続としては以下。

**経産省**：jGrants、産業保安法令手続（保安ネット）、経営力向上計画申請、認定支援機関申請 等

**他省庁**：jGrants、企業の社会保険手続（厚労省）、農業者の共通申請システム（農水省） 等

**自治体**：jGrants ※今後自治体業務の連携についても検討

## 2. 1度の印鑑証明の提出で以後本人確認書類が不要に。

これまでは**手続ごとに存在確認書類（登記事項証明書等）**を取り寄せていたものが**不要**に。

※2020年度中に法人設立ワンストップとの連携により、**新規設立法人に対する電子オンリーでのID発行を目指す。**

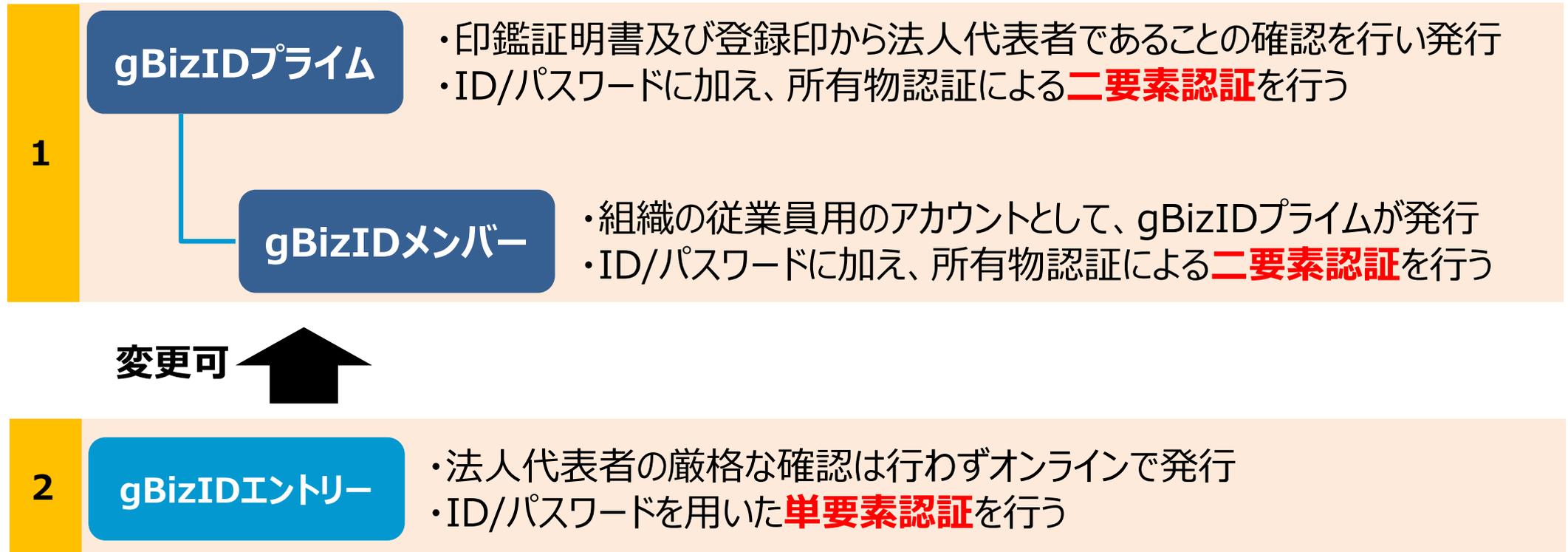
## 3. GビズIDプライムでは2要素認証を通じてセキュリティにも配慮。

ID/Passwordに加えて、スマホ、フィーチャーフォンでのアプリ・SMSによる端末認証を通じて、安全にログインできる環境を実現

# 利用できるアカウントの種別

- G Biz I Dでは①法人基本3情報を正確に確認し発行するアカウント及び②法人基本3情報の厳密な確認を行わず発行するアカウントの、2系統を提供。
- 各行政手続における身元確認の要否により、いずれのアカウントを使用するかが手続ごとに設定される。

## 《G Biz I Dのアカウント体系》



※ G Biz I Dは、法人のほか、個人事業主も利用可能。

# gBizIDプライムの取得フロー

事業者



法務局に訪問

印鑑証明書と  
押印した申請書を郵送

メールに従って本登録

GビズID



申請書受領  
書類審査

審査承認の連絡  
(メール)

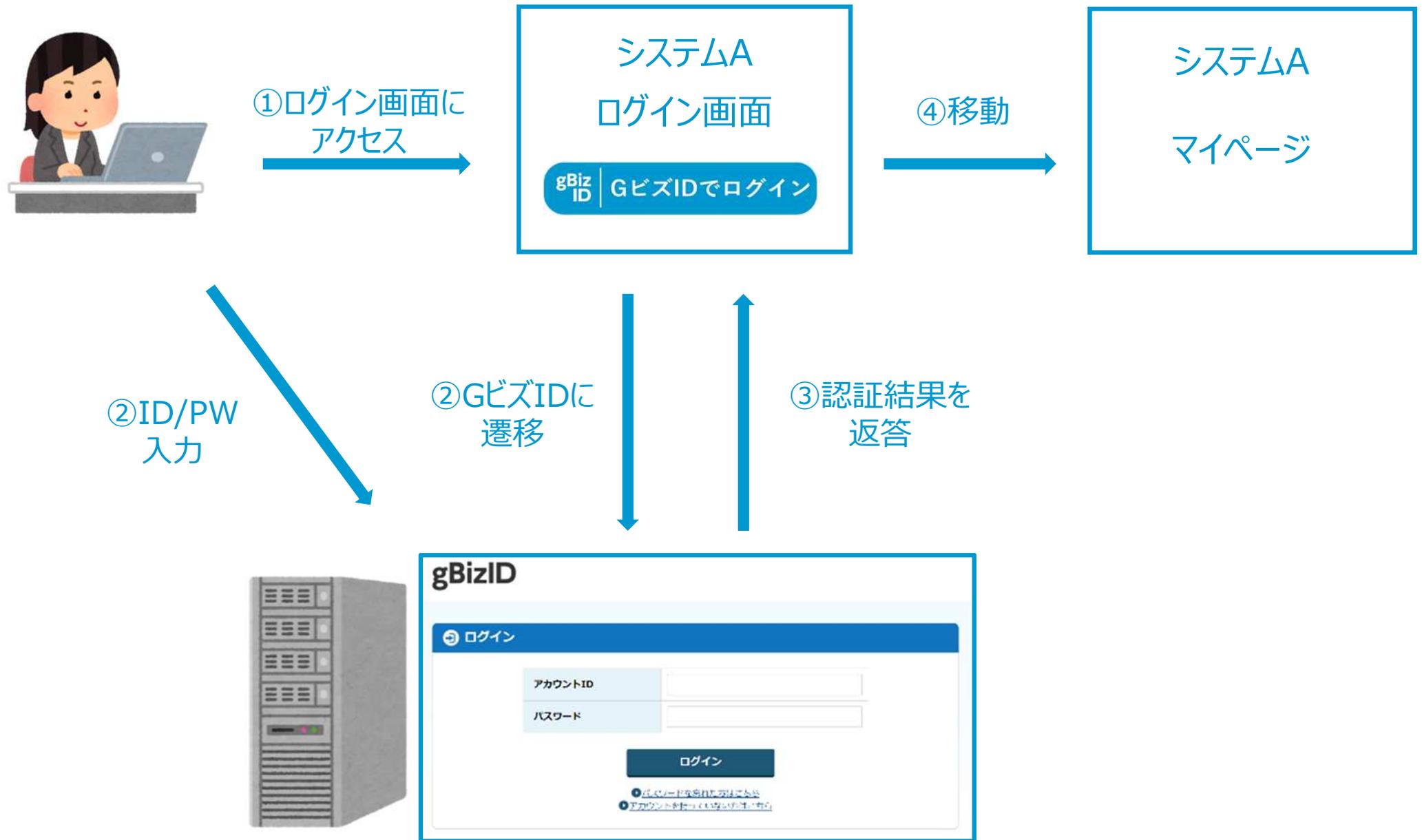
法務局



本人確認を  
実施

印鑑証明書を  
発行

# GBizIDによるログインイメージ



## 保証レベル（NIST SP 800-63-3との関係）

- ✓ NIST SP 800-63-3（アメリカ国立標準技術研究所（NIST）が定める電子的認証に関するガイドライン）の各ユーザモデルの保証レベルと、GビズIDとの関係については、以下のとおり整理。

	gBizIDエントリー	gBizIDプライム	gBizIDメンバー	※未対応※
<b>IAL</b> 身元情報検証時の 保証レベル (Identity Assurance Level)	1 本人確認不要、 自己申告での 登録でよい	2 サービス内容により識別に用い られる属性をリモート又は対面 で確認する必要あり	3 識別に用いられる属性を対 面で確認する必要有	
<b>AAL</b> 認証プロセスの 保証レベル (Authenticator Assurance Level)	1 単要素認証で OK	2 2要素認証が必要（2要素 目の認証手段はソフトウェア ベースのものでOK）	3 2要素認証が必要、かつ2 要素目の認証手段はハード ウェアを用いたものが必要	

⇒ 電子署名方式の利用の検討

# 本人確認ガイドラインとGビズIDとの対応

- 平成31年2月、CIO連絡会議において、「**行政手続におけるオンラインによる本人確認の手法に関するガイドライン**」が策定された
- GビズIDとしては、当該**ガイドラインとも整合を取りつつ整理**

## 《本人確認の手法例の対応表（法人等に係る行政手続）》

	必要な保証レベル		GビズIDとの対応関係
	身元確認	当人認証	
レベルA	(レベル3) 対面での身元確認	(レベル3) 耐タンパ性が確保されたハードウェアトークン	(レベルA相当) レベルAに該当する機能はなし
レベルB	(レベル2) 遠隔又は対面での身元確認	(レベル2) 複数の認証要素	(レベルB相当) <b>gBizIDプライム</b> ※身元認証：印鑑証明書等から代表者を確認 ※当人認証：2要素認証
レベルC	(レベル1) 身元確認のない自己表明	(レベル1) 単一又は複数の認証要素	(レベルC相当) <b>gBizIDエントリー</b> ※身元確認：存在確認のみ ※当人認証：単要素認証

## 《GビズIDを用いて申請できる手続の具体例（社会保険手続）》

ガイドラインにおいて、社会保険手続のうち「保険の適用日・喪失日を申請内容に含む手続」や「保険料又は給付額算定の根拠となる報酬等を申請内容に含む手続」等については、ログイン履歴の管理機能や未登録端末からのログイン検出機能等を有するGビズIDが提供するID・パスワード（多要素認証）により実施可能と考えられる、として例示されている。

認証方式	内容	対象アカウント種別
単要素認証	パスワード認証方式	gBizIDエントリー
2要素認証	パスワード認証 + 所有物認証方式	gBizIDプライム／gBizIDメンバー

認証結果は、OpenID ConnectのAuthorization Code Flowの標準に従い提供

## <パスワードポリシー>

- ・利用可能文字は半角英数記号。
- ・ブランク許容 ⇒ パスフレーズ許容  
(例：『May the Force be with you』など)
- ・複数文字種は求めない。
- ・長さは8桁以上（システム的には最大100桁まで入力可）
- ・法人共通認証基盤において設定する「NGワード」と一致するパスワードの設定は不可。  
(例：『12345678』『1qaz2wsx』など)
- ・パスワードリセットのためのヒント情報は持たない。  
(例：『飼っているペットの名前は？』など)
- ・定期的な変更は求めない。

## <その他>

- ・いずれの場合も、Cookieによる端末確認を行う。未使用利用端末（新しい端末）からアクセス・ログインした場合、利用者に対しメールによるログイン通知を行う。
- ・パスワード認証を10回連続で失敗することにより、パスワードロックがかかる。この場合、自身でのパスワードリセットによる解除が必要となる。

## スマートフォンアプリ認証



(左図)  
ボタン認証の場合  
(右図)  
指紋認証の場合

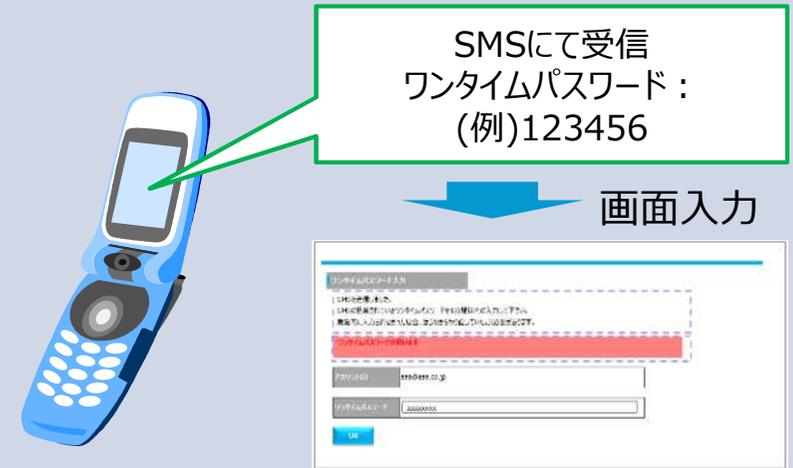
アイコン



(イメージ)

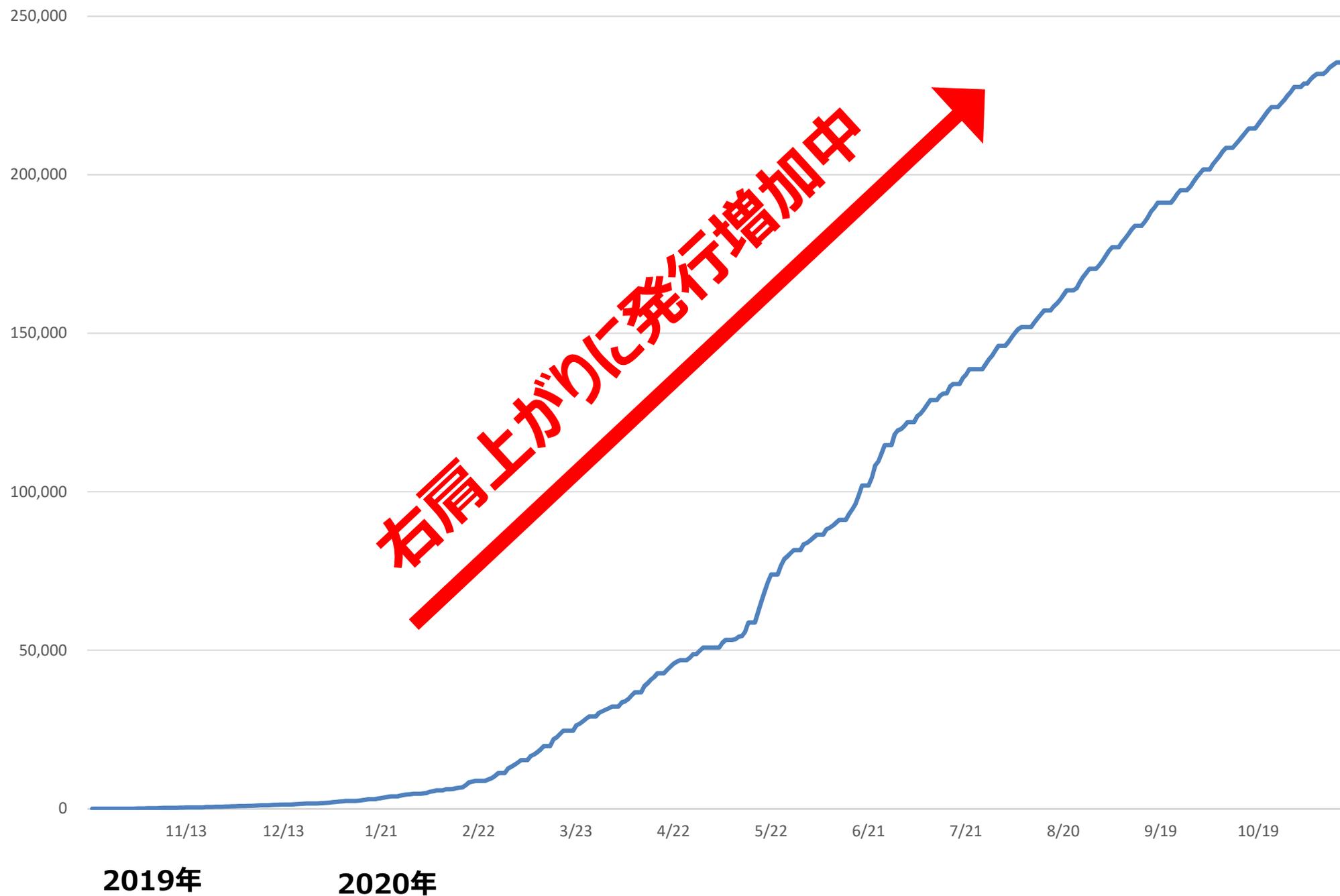
- ・アカウント登録後、マイページからスマホアプリのダウンロードが可能。
- ・スマホアプリ登録後は、**パスワード認証後、スマホアプリでOKボタンを押下する、又は指紋認証、又は顔認証**（機種や設定により異なる）をしてログイン。
- ・アプリケーションは、**iPhone及びAndorid端末に対して提供する**。iPhoneのうち、TouchIDやFaceIDに対応している端末の場合には、指紋認証や顔認証を利用することができる。
- ・また、iOSの生体認証（TouchID/FaceID）が失敗した場合は以下のとおりとなる。
  - －PIN認証が有効な場合：PIN認証画面を表示
  - －PIN認証が無効な場合：ボタン認証画面を表示

## ワンタイムパスワード認証



- ・スマートフォンアプリの利用ができない場合は、ワンタイムパスワード認証を利用。
- ・ユーザ登録時に登録したSMS受信用電話番号に、**SMSにてワンタイムパスワード（6桁数字）を送信する**。
- ・**利用者はそのワンタイムパスワードをWeb画面上で入力**することでログインできる。
- ・ワンタイムパスワードの有効期限は1時間。

# GビズID累計発行件数



# GビズID関連の閣議決定文書（抜粋）

## ●未来投資戦略＜令和2年7月17日閣議決定＞

iii) 世界で一番企業が活動しやすい国の実現

① 法人向けワンストップサービスの実現

**GビズID等**、法人向け行政手続の利便性を高めるデジタル基盤を2020年度末までに整備し、2021年度以降段階的に利用を拡大する。

## ●デジタル・ガバメント実行計画＜令和2年7月17日閣議決定＞

### 7.3 法人デジタルプラットフォームの整備（◎経済産業省、内閣官房、関係府省）

法人デジタルプラットフォームは、複数の行政サービスで利用することを想定した共通機能と、業務固有の機能から構成され、2019年度（令和元年度）時点では3つの共通機能（Gビズインフォ（法人インフォメーション）（以下「Gビズインフォ」という。）、**「GビズID」**、「Gビズコネクト」整備を進めている。

（略）

また、一つのID・パスワードで複数の行政サービスにアクセスを可能とする認証システムとして**「GビズID」**を2018年度（平成30年度）より運用開始し、2019年度（令和元年度）は、経済産業省の産業保安関係法令手続、中小企業向け補助金申請等の主要な行政手続から導入を進めている。2020年度（令和2年度）からは、厚生労働省の社会保険手続における認証システムとして導入を開始するなど、法人向け行政手続の共通認証システムとして普及を図るため、各府省の行政手続について横展開を行っていく。

## ●世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画＜令和元年12月20日閣議決定＞

（4）民間部門のデジタルトランスフォーメーションの促進

また、事業者向け行政手続について、ユーザー視点でデジタルサービスを開発することで、官民双方の業務負担を軽減するとともに、データ利活用環境を整備し、デジタル・ガバメントへの変革を推進する。**1つのID、パスワードで様々な行政手続の認証を可能とするGビズID**、ワンストップ・ワンズオンリーで他省庁、及び地方公共団体も利用可能とするJグランツ等、既に開発しているものにとどまらず、継続してデジタル化を実施する。

## ●統合イノベーション戦略＜令和2年7月17日閣議決定＞

3. デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進と強靱で持続可能な社会・経済構造の構築 ～反転攻勢と社会変革～

①デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

また、民間事業者に対して、時間・場所の制約なく遠隔で迅速に支援等を提供するため、汎用的な補助金申請システム（Jグランツ）の機能拡充と運用体制強化、**事業者向け共通IDシステム（GビズID）の発行能力強化と迅速化を行う。**

## ●規制改革実施計画＜令和2年7月17日閣議決定＞

（3）新たな取組

8. オンライン利用率を大胆に引き上げるための環境整備

法人番号を活用した、**GビズID**の横断的導入など認証（本人確認）の共通化やデータ連携等

# GビズIDが利用可能な手続き一覧

	対象手続き	概要	省庁	使用開始
1	IT導入補助金2020	中小企業・小規模事業者等が自社の課題やニーズに合ったITツールを導入する経費の一部を補助する制度	経済産業省	2020年4月
2	ものづくり補助金	中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援するもの	経済産業省	2020年3月
3	jGrants	公募から事後手続まで全プロセスをデジタル化した補助金申請システム	経済産業省	2019年12月
4	保安ネット	産業保安・製品安全分野の一部手続きをインターネットで提出するサービス	経済産業省	2019年12月
5	省エネ法定定期報告書情報提供システム	特定事業者等向けに省エネ取組に有用となる情報を提供するシステム	資源エネルギー庁	2020年3月
6	認定経営革新等支援機関電子申請システム	経営革新等支援機関としての認定を受けるための申請手続	中小企業庁	2020年6月
7	経営力向上計画申請プラットフォーム	経営力向上計画の認定申請	中小企業庁	2020年4月
8	ミラサポplus	中小企業向け補助金、支援サイト	中小企業庁	2020年2月
9	情報処理支援機関【スマートSMEサポーター】認定制度	中小企業の生産性向上に資するITツールを提供するITベンダー等のIT導入支援者を「情報処理支援1,283機関」として認定する制度	中小企業庁	2020年4月
10	鉱業原簿登録更新サイト	鉱業権設定に係る登録免許税納付後から鉱業原簿への登録手続き	経済産業省	2020年3月
11	社会保険手続きの電子申請	社会保険の採用・退職時等の手続きの電子申請	厚生労働省	2020年4月
12	食品衛生申請等システム	食品リコール情報の公開、営業許可申請・届出	厚生労働省	2020年7月
13	農林水産省共通申請サービス	農林水産省の申請手続きをオンラインで共通的におこなえるサービス	農林水産省	2020年1月

- 国のシステムについてはGビズIDを利用していく方針。
- 地方自治体のシステムでも利用できるがまだ実績はない。

- G BizIDの取得方法等に関するお問合せ

G BizID運用センター

06-6225-7877

【受付時間】9：00～17：00（土・日・祝日、年末年始を除く）

- G BizIDの制度に関するお問合せ

経済産業省商務情報政策局情報プロジェクト室

03-3501-3091

担当：布山、早川

- G BizIDウェブサイト

<https://gbiz-id.go.jp>

